

令和6年度一般財団法人宮城県社会保険協会 事業報告

令和6年度における本会事業を取り巻く状況は、健康保険証の新規発行の廃止に伴うマイナ保険証への移行や2024年財政検証の結果を踏まえた、本格的な年金制度改正案の検討など、デジタル化や働き方の多様化により働き方に中立的な社会保障制度等の構築が進められている。

そのため、当協会においては、社会の多様化を受けデジタル化を推進するため、ホームページの機能を充実させるとともに、地域に密着した紙面や対面による事業を重要と捉え、各年金事務所及び協会けんぽ宮城支部等のご協力により、社会保険制度の普及発展に資する事業である広報誌「社会保険みやぎ」の発行や宮城県内地区ごとの新任事務担当者等事務講習会や年金シニアライフセミナー等を実施した。

主な内容は下記の通りである。

1. 会議の開催

名 称	実 施 日	議 題	備 考
理 事 会 評 議 員 会	令和6年 6月4日(書面) 6月18日	1. 令和5年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会事業報告 2. 令和5年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会収支決算(案) 3. 監事選任等について	
理 事 会	令和7年 3月4日	1. 令和7年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会事業計画(案) 2. 令和7年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会収支予算(案)	
評 議 員 会	令和7年 3月18日	1. 令和7年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会事業計画(案) 2. 令和7年度 一般財団法人 宮城県社会保険協会収支予算(案)	
広 報 誌 編 集 会 議	1. 令和7年 1月22日 2. 隔月開催	1. 令和7年度広報計画策定会議 (仙台東年金事務所、協会けんぽ) 2. 広報誌発行のための編集会議	仙台東 年金事務所・ 協会事務室
三 者 連 携 会 議	令和6年 12月18日	1. 令和6年度日本年金機構仙台東年 金事務所及び全国健康保険協会宮 城支部との連携会議	協会けんぽ 宮城支部

2. 周知・広報

(1) 広報誌「社会保険みやぎ」による広報

広報誌「社会保険みやぎ」を、日本年金機構各年金事務所及び全国健康保険協会宮城支部の協力を得て編集発行し、隔月会員事業所に配布した。

- ① 年間発行部数 71,740部
- ② 主な編集内容
 - ・宮城県内の新しい見どころの紹介（表紙）
 - ・年金保険制度及び健康保険制度の解説と事務手続き
 - ・生活習慣病予防健診・特定健診の受診勧奨、特定保健指導の活用
 - ・制度解説シリーズ：漫画「M美さんの社会保険物語」
 - ・健康づくり事業の案内（専門家による指導講習会等）
 - ・その他本会事業に関するお知らせ（新任担当者等講習会等）
 - ・仙台うみの杜水族館等の施設割引利用券、スプリングバレー仙台泉スキー場優待割引利用券や宿泊施設等の優待割引利用について

(2) ホームページによる広報

社会全体のデジタル化や多様性に対応するため、より多くの人に情報が届くよう、以下のホームページの充実を図った。

- ① スマートフォンやタブレット等から快適に閲覧できるよう、レイアウトの見直し。
- ② ホームページの更新回数を増やし、タイムリーな情報提供を行い、協会事業等について分かりやすく掲載。
- ③ 施設優待施設等の利用方法を、ホームページでダウンロードできるようにし、新規施設等をリアルタイムで案内。
- ④ 「新任担当者等事務講習会」及び「年金シニアライフセミナー」の参加申込みをホームページ上で受付する申込みフォームを設置。
⇒様々な方法での申込みが可能となり、参加者の増加に繋がった。
- ⑤ 「会員事業所変更届」用の、専用フォームを設置。
⇒ホームページ上で諸変更が行え、事務担当者の利便性向上と事務負担の軽減を図った。

(3) 講習会等の開催

事業所の新任担当者向けの事務講習会である「新任担当者等事務講習会」及び退職予定者等を対象に、定年退職後の具体的なライフプランや健康維持についての講演を行う「年金シニアライフセミナー」を実施した。

- ① 新任担当者等事務講習会（令和6年9月開催 5会場）
参加者 150名
（仙台92名、石巻10名、大崎34名、大河原14名）
- ② 年金シニアライフセミナー（令和6年10月開催 5会場）
参加者 114名
（仙台52名、石巻20名、大崎33名、大河原9名）

(4) その他の年金制度等の周知

- ① 会員事業所に対してテキスト「令和6年度版 社会保険の実務の手引き」の配布。（配布10,220部うち145部は新規加入会員事業所）

- ② 宮城県ポスターコンクールの後援
年金制度の普及・啓発を目的とした中学生向けのポスターコンクール（主催：日本年金機構 宮城県内各年金事務所）に協賛し、記念品の贈呈を行った。入賞結果については広報誌「社会保険みやぎ」に掲載、協会ホームページにおいても公表。（応募総数 94作品）

3. 健康・福利の増進

(1) 健康づくり事業の実施

職場の健康づくり推進のため、広報誌などで情報発信を行ったが、健康に関する講習会を希望する事業所は予想より少ない結果となった。また、令和6年度も日本年金機構主催の各算定基礎届等事務講習会等において、健康づくりをテーマにした講話を実施し、好評を得た。

（参加者 11会場 780名）

① 健康づくり指導講習会

管理栄養士による講習の実施

（計2回：参加者61名）

なお、体育専門家による講習、専門家による技術講習は実施なし。

② 健康づくりDVDの貸出し

健康づくりに役立つDVDの貸出しを実施。

（計4枚：65名視聴）

(2) 健康増進事業の実施

① 春・秋のハイキング

ア 春のハイキングは「みやぎ歩け歩け大会」への参加助成。

（参加者21人）

イ 秋のハイキングは催行人数に満たず未実施。

② スキー場リフト券助成等

ア スプリングバレースキー場リフト券特別優待割引券の配布。

（広報誌に掲載：全会員事業所に4枚配付）

イ スキー（スノーボード）スクール利用助成。

一般向けレッスン及びキッズ専用スクールの参加助成券を発行。

（発行枚数9枚 3人参加）

③ 指定保養所の宿泊補助

社会保険協会加入事業所の被保険者及び被扶養者を対象に、契約宿泊施設に宿泊した場合割引補助を実施。

契約施設「鳴子やすらぎ荘」

（利用者 2事業所 のべ19名）

(3) 健康と福利の増進事業の推進

① 利用優待事業の推進

スプリングバレー仙台泉スキー場と新たに「高原の芋煮会及びジップラインアドベンチャー」の利用優待を締結し、**冬季**のスキーリフト優待割引と合わせて、季節ごとに優待を利用できるようにした。

仙台うみの杜水族館とは、施設利用割引に関する契約を継続し、会員事業所の従業員等の福利厚生の上を向上を図った。

② 宿泊施設等の優待事業の推進

一般社団法人全国社会保険連合会との連携を強化し、会員事業所向けの「施設利用会員証」を発行するとともに、従業員向けの宿泊等の優待サービスを提供した。

また、一般社団法人全国社会保険協会連合会の行う宿泊施設等の優待事業及び宮城県社会保険協会が独自に契約した宿泊施設の優待利用について利用促進のための周知広報を広報誌及び当協会ホームページ上で実施した。

③ その他

広報誌を活用し同封物として、下記の案内を実施した。

ア 家庭常備薬等の斡旋を会員事業所に年2回（6月・12月）

イ 経済誌2社の年間購読特別割引キャンペーン案内

ウ 乗馬クラブの利用割引券

4. 社会保険委員会への協力

(1) 社会保険委員会との連携強化

社会保険委員（職域型年金委員・健康保険委員）会との連携を強化し、経理事務等に協力した。

(2) 年金委員表彰への協賛

「年金委員・健康保険委員会等表彰式」の合同表彰式の際、年金委員への表彰に協賛した。

(3) 「月刊社会保険」の発送費用負担

社会保険委員等の社会保険実務担当者のための専門誌「月刊社会保険」の送料負担を支援した。

5. その他の実施事項

(1) 社会保険協会長表彰について

長年、当協会の役員に就任されるなど、当協会事業の推進に貢献し、ご尽力いただいた方々を表彰した。

前監事 株式会社藤崎 常勤監査役 伊達啓公 様

評議員 株式会社仙台ドライブスクール 顧問 齊藤宵子 様

(2) 年金相談センターおよび年金相談コーナーの後方支援

「街角の年金相談センター仙台」及び各年金事務所「年金相談コーナー」に対する広報を支援した。

(3) 行政機関等との連携の推進

各種講習会・セミナーにおいて日本年金機構・協会けんぽに講師派遣を依頼。また国税局からの要請により、相続税に関するチラシを配布。行政機関との連携推進を図った。